平成 26 年 11 月 17 日

各　位

会 社 名 ピー・シー・エー株式会社
代表者名 代表取締役社長 水谷 学
（コード番号 ９６２９ 東証第二部）
問合せ先 取締役管理本部長 佐藤 文昭
（ＴＥＬ．０３－５２１１－２７１１）

基幹業務クラウド『PCA クラウド』サービスにおいて『SOC2 報告書』取得のお知らせ
受託業務の内部統制保証報告に関する国際的なセキュリティ規準に対応

業務用パッケージソフトベンダーの**ピー・シー・エー株式会社**（代表取締役社長：水谷学 本社：東京都千代田区富士見 東証二部登録銘柄コード9629）は、中堅・中小法人向け基幹業務クラウドサービス**『PCAクラウド』**において、受託業務の内部統制のうち、情報システムのセキュリティ、可用性、処理のインテグリティ（完全性）、機密保持およびプライバシーを対象とした合理的な保証を提供するための規準である「SOC2ガイド」「Trustサービスの原則および規準※」（米国公認会計士協会：AICPA）及び「国際保証業務基準（ISAE）3000」に基づき評価された**『SOC2（ソックツー） Type1報告書（以下、SOC2報告書）』**を平成26年11月10日に独立監査人より取得いたしました。※PCAクラウドでは、「セキュリティ、可用性、機密保持」を対象にしております。
『PCAクラウド』を利用されているお客様はもとより、サービス利用を検討されているお客様に対しても、本報告書を無料で提供いたします。

昨今、Windows XPのサポート終了や消費税改正など、多くの法人が導入されている基幹業務システムの更新・見直しをされる機会が増加しており、その際にクラウドサービスの利用を検討されるケースが顕著になっております。今後、Windows Server 2003のサポート終了や消費税10％導入などを控えており、さらに多くの法人が基幹業務システムのクラウド化を検討されると見込んでおります。導入検討いただく際には、サービス自体の有用性は当然のこと、内部統制の有効性やセキュリティ対応への保証など、サービス品質についても重要視されるようになっております。

『PCAクラウド』を利用されているお客様につきましては、当社がすでに提供しております**『SSAE16』『ISAE3402』**に基づく**『SOC1（ソックワン） Type2報告書』**を、自社の財務報告に関連する基幹業務の内部統制の有効性評価（IT全般統制）に利用いただいており、お客様とその監査人の監査に係る工数削減に寄与しております。今回新たに**『SOC2 Type1報告書』**を取得したことで、**『PCAクラウド』**に関するシステム上のセキュリティ、可用性および機密保持について、グローバルで高水準なセキュリティ等への対応が保証されていることが確認されました。特に、平成28年1月から開始されるマイナンバー制度への対応には、セキュリティ対策が重要課題となることから、**『SOC2 Type1報告書』**の取得は、サービス利用をいただくお客様から高い評価をいただけるものと期待しております。当社は今後も、品質と信頼性の向上に努めると共に、機能性やコスト面に優れたサービス提供を行い、日本国内におけるクラウドサービス利用を推進してまいります。

『SOC2』は、米国公認会計士協会（AICPA）が定めた受託業務の内部統制に関して合理的な保証を提供する保証制度のうち、「SOC2ガイド」「Trustサービスの原則および規準」及び「国際保証業務基準（ISAE）3000」に基づいて、委託会社の財務報告目的以外の**情報システムのセキュリティ、可用性、処理のインテグリティ（完全性）、機密保持およびプライバシー**を対象とする内部統制の有効性を評価する国際的な保証基準です。
『SSAE16』は、米国公認会計士協会（AICPA）が定めた受託業務の内部統制に係る保証報告制度においては、**『SOC1』（委託会社の財務報告目的）**に分類されます。

以 上